

## 聖霊降臨後第8主日特禱（特定11）

恵みと憐れみを賜わるとき、殊に全能を現わされる神よ、豊かな慈しみをわたしたちに与え、あなたが約束されたものを目指して走り、ついに天の宝にあずかる者としてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

### 旧約聖書 イザヤ書 57章14節b—21節

盛り上げよ、土を盛り上げて道を備えよ。わたしの民の道からつまずきとなる物を除け。高く、あがめられて、永遠にいまし、その名を聖と唱えられる方がこう言われる。わたしは、高く、聖なる所に住み、打ち砕かれて、へりくだる霊の人と共にあり、へりくだる霊の人に命を得させ、打ち砕かれた心の人に命を得させる。わたしは、とこしえに責めるものではない。永遠に怒りを燃やすものでもない。霊がわたしの前で弱り果てることがないように、わたしの造った命ある者が。貪欲な彼の罪をわたしは怒り、彼を打ち、怒って姿を隠した。彼は背き続け、心のままに歩んだ。わたしは彼の道を見た。わたしは彼をいやし、休ませ、慰めをもって彼を回復させよう。民のうちの嘆く人々のために、わたしは唇の実りを創造し、与えよう。平和、平和、遠くにいる者にも近くにいたる者にも。わたしは彼をいやす、と主は言われる。神に逆らう者は巻き上がる海のように、静めることはできない。その水は泥や土を巻き上げる。神に逆らう者に平和はないと、わたしの神は言われる。

### 詩 編 第22篇23—31節

- 23 主を畏れる者は神をたたえ、ヤコブの子孫はみな主をほめよ // イスラエルの子孫はみは神を恐れよ
- 24 神は悩む人の苦しみを軽んぜず、いとわれず // 顔を背けることなく、その叫びを聞き入れられた
- 25 神の恵みによって、民の集いで賛美を献げ // 神を畏れる人びとの前で、わたしは誓いを果たす
- 26 貧しい人は糧に恵まれ、神を求める人は主をたたえる // いつまでもあなたがたの心は生きるように
- 27 遠く地の果てまで、すべての者が主に立ち帰り // 諸国の民は神の前にひざをかがめる
- 28 わたしたちの国は主のもの // 神は諸国を治められる
- 29 地の中に眠っている者もみな主をあがめ // 塵に帰る者も皆み前にひれ伏す
- 30 わたしは神のために生き、子孫は神に仕える // 彼らは主のことを次の世代に語り継ぎ
- 31 後から生まれてくる民に // 神のみ業、その救いを告げ知らせる

### 使徒書 エフェソの信徒への手紙 2章11節—22節

だから、心に留めておきなさい。あなたがたは以前には肉によれば異邦人であり、いわゆる手による割礼を身に受けている人々からは、割礼のない者と呼ばれていました。また、そのころは、キリストとかかわりなく、イスラエルの民に属さず、約束を含む契約と関係なく、この世の中で希望を持たず、神を知らずに生きていました。しかしあなたがたは、以前は遠く離れていたが、今や、キリスト・イエスにおいて、キリストの血によって近い者となったのです。実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、規則と戒律づくめの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、双方を御自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。それで、このキリストによってわたしたち両方の者が一つの霊に結ばれて、御父に近づくことができるのです。従って、あなたがたはもはや、外国人でも寄留者でもなく、聖なる民に属する者、神の家族であり、使徒や預言者という土台の上に建てられています。そのかなめ石はキリスト・イエス御自身であり、キリストにおいて、この建物全体は組み合わされて成長し、主における聖なる神殿となります。キリストにおいて、あなたがたも共に建てられ、霊の働きによって神の住まいとなるのです。

#### **福音書 マルコによる福音書 6章30節—44節**

さて、使徒たちはイエスのところに集まって来て、自分たちが行ったことや教えたことを残らず報告した。イエスは、「さあ、あなたがただけで人里離れた所へ行って、しばらく休むがよい」と言われた。出入りする人が多くて、食事をする暇もなかったからである。そこで、一同は舟に乗って、自分たちだけで人里離れた所へ行った。ところが、多くの人々は彼らが出かけて行くのを見て、それと気づき、すべての町からそこへ一斉に駆けつけ、彼らより先に着いた。イエスは舟から上がり、大勢の群衆を見て、飼い主のいない羊のような有様を深く憐れみ、いろいろと教え始められた。そのうち、時もだいぶたったので、弟子たちがイエスのそばに来て言った。「ここは人里離れた所で、時間もだいぶたちました。人々を解散させてください。そうすれば、自分で周りの里や村へ、何か食べる物を買って行くでしょう。」これに対してイエスは、「あなたがたが彼らに食べ物を与えなさい」とお答えになった。弟子たちは、「わたしたちが二百デナリオンものパンを買って来て、みんなに食べさせるのですか」と言った。イエスは言われた。「パンは幾つあるのか。見て来なさい。」弟子たちは確めて来て、言った。「五つあります。それに魚が二匹です。」そこで、イエスは弟子たちに、皆を組みに分けて、青草の上に座らせるようにお命じになった。人々は、百人、五十人ずつまとまって腰を下ろした。イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで賛美の祈りを唱え、パンを裂いて、弟子たちに渡しては配らせ、二匹の魚も皆に分配された。すべての人が食べて満腹した。そして、パンの屑と魚の残りを集めると、十二の籠にいっぱいになった。パンを食べた人は男が五千人であった。